

連合 徳島



JTUC-TOKUSHIMA

NO. 193 (2009年6月29日)

発行人・川越敏良 編集人・小松義明

日本労働組合総連合会徳島県連合会

〒770-0942 徳島市昭和三丁目35-1

徳島県労働福祉会館 6F

088-655-4105 Fax 088-655-4113

E-MAIL info@tokushima.jtuc-rengo.jp

すべての働く者の連帯で、ともに働き暮らす社会をつくろう

当
面
の
日
程

7月 4日(土) 衆議院選挙勝利、駅前街頭演説

11時45分～12時15分 (JR徳島駅前)

第45回衆議院選挙勝利7・4総決起集会

13時30分～15時 (クレメントホテル4F)

連合四国ブロック・政治研修会

15時30分～17時 (クレメントホテル4F)

安心と安全、公正な社会の実現、 新たな政権の樹立に向けて、総力を結集しよう！

2009年度連合徳島地方委員会が6月26日午後、阿波観光ホテルで開催され、役員・地方委員など約100人が出席する中、くらしの安心と社会的公正を確立する政策・制度の実現など、2009年度後期主要課題の取り組む方針等を決定した。

地方委員会は、高根会長代行の開会あいさつで始まり、議長に片岡地方委員(自治労)各種委員を選出後、あいさつに立った川越会長は「本地方委員会は、2009年度上半期の活動を振り返り、残された期間の取り組みの再確認と09春闘の中間まとめについて確認していただく場である。09春闘は昨年秋からの世界同時不況の影響で、百年に一度の経済危機の中で、連合が提起した『雇用も賃上げも』という方針にはほど遠い結果であった。しかし、取り組みとしてグループ共闘組織の立ち上げや時間外・パート・中小共闘などの共同歩調の取り組みがそれなりの成果を上げることができた。ただ、厳しい結果であることは間違いのないことであり、これから議論される最低賃金の



改善の取り組みを含め、地域の底上げをいかに図っていくかが課題だと考える。また、この間8産別と単組対話集会を実施してきた。連合の取り組みや考え方について理解を深めていただくとともに、地協運動や連合運動への注文や要請、産別課題について理解を共有してきた。今後の課題は、現場の闘いと政治と政策の転換、国レベルの取り組みの2つに分けられると思う。現場での取り組みは、産別単組、そして連合や地域ユニオンにおける労働条件の確保と改善の取り組み、そして地域最賃をはじめとする地域政策

に対する取り組みを通じて底上げを図る取り組みである。情勢は厳しいがしっかり組合員の声を大事にして取り組みの強化と連合徳島としても引き続いて労働相談を実施しながら、地域ユニオンへの加盟と交渉の強化を図っていききたい。もう1つの国レベルの政治と政策転換は、解散総選挙における全ての小選挙区での勝利と政権交代の実現である。これらの課題を克服し、連合運動の前進に向けて取り組みを強化していくので、各構成組織のご支援・ご協力を」と話された。

続いて、来賓として連合本部・龍井非正規労働センター長、飯泉県知事、福祉事業団体を代表して久積労福協会長、仙谷・高井代議士、仁木3区総支部長、寺前・社民党県連代表、連合推薦議員団より、あいさつを受けた。資格審査委員会報告により、地方委員会成立宣言が行われ、議事運営委員会から報告を受けた。

その後、報告事項に入り、小松事務局長より一般経過報告、品山財政局長より上半期会計報告、谷口会計監査より監査報告が行われ、質疑の後、報告事項は拍手多数により承認された。

続いて議事に入り、第1号議案・2009春季生活闘争の中間まとめ、第2号議案・2009年度後期主要課題の取り組み、第3号議案・連合徳島役員補充(県教組・小原伸二執行委員、井上卓・会計監査)について、小松事務局長より提案。質疑の後、全体の拍手で承認された。

続いて、「第45回衆議院選挙で政権交代を実現する特別決議(案)」を富田副会長が、2009年度地方委員会アピール(案)を宮本執行委員が提案し、全体の拍手で採択した。

最後に、河村副会長の閉会あいさつの後、川越会長の音頭で団結ガンバローを三唱し、地方委員会を終了した。



川越会長の音頭で、団結ガンバローを三唱する